

新潟教育会報

第82号

公益財団法人新潟教育会
(新潟教育会館内)

代表理事 川端 弘実

〒950-8104

新潟市中央区西大畑町590番地3

TEL/FAX 025-222-2971

URL <http://kyouikukai.jp>E-mail 事務局 jimu@kyouikukai.jp研究所 kenkyujo@kyouikukai.jp

休館日 月曜日



講師プロフィール

▼本名 佐藤 伸 (さとうしん)

▼絵本作家

▼作家活動の傍ら、新しいコミュニケーション遊び「おてて絵本」を発案、普及活動に力を入れている。

▼現在、大垣女子短期大学客員教授

▼『うんこ!』(文芸堂)で、第1回リプロ絵本大賞、第3回MOE絵本屋さん大賞等数々の賞を受賞される。

▼絵本の作品には、他に、

- ヤカンのおかんとフトンのおとん
- きみのきもち
- とこやにいったライオン
- おれたちはパンダじゃない
- せきとりしりとり など多数

平成28年度 夏季大学講座

開催日時 8月6日(土)

会場 朱鷺メッセ マリンホール

講師 サトシン様

演題 「お話で寄り添う、心と心」



絵本と歌のメッセージ

見附市立見附小学校

野口 典弘

不思議なおじさんの登場。そして、歌い始めた『さんぽのき』。何が始まるのかと驚いたが、サトシンさんの講演にはたくさんさんのメッセージが込められていた。十作品余りの絵本の中で、代表作『うんこ!』は、斬新な目線をもっていますか?と私達に問いかけた。間違えた方がいいんだよ。他人の喜びを自分の喜びって言えるのが人間。本を読んで、笑い合うことの素晴らしさ。『わたしはあかねこ』では、自分が自分自身を好きでいることの強さと尊さを伝えた。心で強く感じたことを目の前の子どもに伝えたい。

夏季大学講座に参加して

新発田市立猿橋中学校

高橋 秀明

『子供の成長を見守り、支える大人へのメッセージ』を、サトシンさんの絵本と講演からたくさんいただいた。特に印象に残ったのは、『わたしはあかねこ』という絵本に込められたメッセージだった。

白猫と黒猫から生まれた赤猫は認められず、親や兄弟から白か黒の毛並みになるように様々言われる。赤猫は「私らしさをわかってくれないのは悲しい」と家出するが、赤色の毛並みを認める青猫に出会い、幸せになるという物語である。

子供のカラーを尊重し、成長を支えることの大切さを再確認させていただいた。

第42回 教育相談研修会

平成28年8月18日(木)～20日(土)

会場 じよいあす新潟会館

受講生 18人

気がかりな子ども、指導に苦慮する子ども、保護者等への教育相談的対応と支援方法。子ども・保護者との信頼関係づくり。ご自身の人間関係力の改善と向上に役立つ心理臨床カウンセリングの体験研修を二泊三日の日程で実施しました。

【受講生の声】

▼三日間の研修を通して、相手の話を「聴く」ことの大切さと難しさを学びました。ミニカウンセリング等を繰り返し体験する中で、話し手としては、安心して話せる相手に聴いてもらうことで、自分の感情を受け止めてもらえた安心感や落ち着



指導者

(敬称略順不同)

堀江 康之
佐藤 隆夫
前山 和彦
井筒 正之
新井 秀和
木澤 弘
山田 喜浩
村山 敬介
鈴木 正彦
古田島 真樹
門野 慎一
山口 真希子
中島 崇
庄司 宗由

きを得ることができるとを体感しました。また、聴き手としては、自分の思い込みや質問したい欲求等に流されず、相手の話をありのまま聴き、正確に理解することがいかに難しいかを実感を持つて理解することができました。

「話し手が主役であり、話し手を中心に考えること」「相手は何を言いたいのか、何を感じ何を求めているのかを分かつと聴くこと」この二点を心に留め、話を「聴く」ことができるように実践をつんでいきたいと思っています。

どこかで学んだことがあると思ったことも、多くの演習を通すことで、実際に感じた気づきや感覚を伴うことで、新しい意味が出てきたようにも思いました。

研修の機会を与えてくださった指導者の先生方や共に学び、多くの気づきを与えてくれた同じグループの先生方に感謝しています。ありがとうございました。

▼通級指導を担当している立場上、保護者や他校の先生方の相談を受ける機会が多くあります。

これまで、書物から得た知識や手探りながら体験してきたことを基に、取り組んできたつもりでしたが、今回の研修を受けたことにより、日々、自分がやってきたことを客観的に見つめ直すことができたと考えています。

例えば、傾聴の場面で、同じ人の話を同じ空間で聴いているはずなのに、人によって受け取り方が違っていることがよく

くありました。やはり、自分の過去の経験を基に解釈してしまうところが、みんなあるのだと改めて気づきました。

本当に、話し手の伝えたい内容の核心に近付くためには、「無構え」で聴くということが自然に出来るようになっていかなければいけないと感じました。

よい機会をいただきましたありがとうございました。

来年度の

研修会実施予定

8月17日(木)～19日(土)
「じよいあす新潟会館」にて
二泊三日の日程
※最終日は、午前で終了

保護者のための

カウンセリング講座

平成28年9月4日(日)

会場 新潟教育会館

参加者 7人

新潟市教育相談センターの山田友明氏を指導者として、保護者のためのカウンセリング講座を開きました。

【参加者の声】

▼今日はありがとうございました。「子どもの話の聴き方」ですが、聴いているようで私自身聴いていないのだなと思いました。子どもが、ありのままの感情を素直に出せる環境作りをしたいと思います。親は子の鏡なので気を付けたいです。親の接し方により、子どもたちの話を聴いてもらった満足感、子どもたちが親になった時の私から見て孫にあたる人への接し方など、連鎖していくのだから...と思うと、今私ができることをしなけ

ればと思います。

今日、お話を聞いて、共感すること、ほめること、自己肯定感を子どもに持つてもらったことを実践していきたいと思いました。ありがとうございました。

第八回 教師力アップ講座

期日 平成28年7月24日(日)

会場 新潟教育会館

この講座の特徴は、参加型の研修、受講選択制の研修、すぐに役立つ研修の三つです。本年は、二講座を実施しました。講座内容等の詳細は、新潟教育研究所発行の「所報」をご覧ください。

▼第一講座

「早期療育の必要性について」

～保育園と療育教室の連携及び

小学校入学時の連携～

講師 鈴木 成実 様

エンジェル保育園園長

▼第二講座

「アクティブ・ラーニングに

どう取り組むか」

～わくわくする学びを目指して～

講師 岩崎 保之 様

新潟青陵大学教授

来年度の講座実施予定



7月30日(日)
新潟教育会館にて

助成金授与式

本年度の特別支援教育助成校六校に対する助成金授与式が開催されました。

該当六校は、各地区の特別支援教育担



学 校 名		種 別			
1	燕市立吉田中学校	知 肢	閉 体	の 症 不	障 害 情 緒 特 別 支 援 学 級 特 別 支 援 学 級
2	阿賀野市立水原中学校	発 達	障 害	通 級	指 導 教 室
3	新潟市立新津第二中学校	知 肢	閉 体	の 症 不	障 害 情 緒 特 別 支 援 学 級 特 別 支 援 学 級

この事業は、昭和47年以來続いているもので、助成した学校（学級）は、357校にのぼっています。

当会では、これからも県内の特別支援教育に努力されている学校（学級）に対する助成を継続したいと考えています。

○寄贈後の保管・管理・活用・廃棄など一切を教育会にお任せ願います。

20年の歴史を 重ねた「教美展」



教美展実行委員長
鈴木 明

第20回教美展は盛会裏に終了することができました。力作を出品して下さいました皆様、ご来場頂いた大勢の皆様、ご支援下さった関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

この度は、展示会場入り口の正面に「20年の歩み」と題し、1回から20回までの案内ハガキ・案内ポスターのパネルを展示いたしました。掲載されている先輩の作品を見ていると、往時が懐しく思い起されてきます。

と、同時にこの教美展に託された思いや願いが、20年の積み重ねの大きなうねりとなって迫り来る思いがしました。時を同じくしてJ1残留を果たしたアルビレックスの選手とサポーターの最後まで諦めないプレーと会場を揺るがす声援が重なってきます。この教美展も途中6回展のH14年、学校週5日制がスタートし、図工、美術の時間が削減され、生徒数の減少も相まって中学校では美術担当教員が減少、現職の方々の出品が大変難しい状況を迎えました。しかし、先輩からの揺るぎない指導や励ましの下で、教美展に託された思いや願いは、脈々と引き継がれ現在に至りました。現職の方々からの出品が増えて来ました。

このような経緯を辿り迎えた20回でした。ありがとうございました。



白い水路（ベネチア）富田 徹

第20回 教美展

平成28年11月2日～11月7日
新潟県民会館ギャラリーA



作品鑑賞・解説会

来年度の
予定
十月二十五日（水）
～十月三十一日（火）

あとがき

▼本年度計画していた事業のうち、これまで実施したものについての概要をお知らせしました。

▼新潟教育会ならではの「教育資料室」を目指して、整備が着々と進んでいます。その状況もお知らせしました。

▼二十回目の「教美展」を盛会裏に終了することができました。ご支援を感謝しその様子を掲載しました。

「教美展」は、平成9年以来、みなさんの厚いご支援のもとで、20回を迎えることができました。